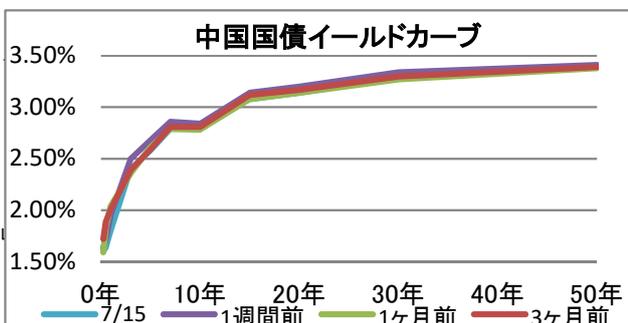
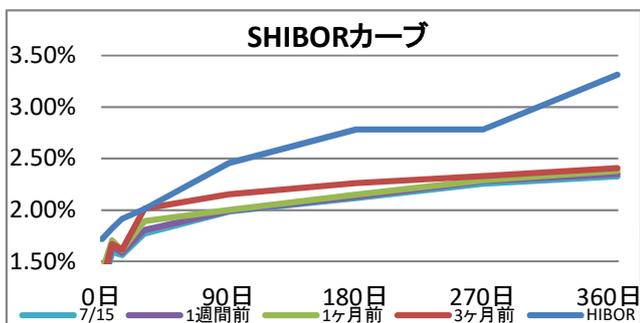


基準レート		2022/7/15	(前週末比)
人民元基準値	USD/CNY	6.7503	+0.0405
	JPY/CNY	4.8571	-0.0763
SHIBOR	3M	1.9770%	-0.0155%
国債利回り	10年	2.79%	-0.05%
上海総合指数		3,228.06	-128.02



(1) 概況

国際金融市場では、注目された米国のPPIが予想を上回る40年来の上昇となったことから、金融引き締め加速とスタグフレーションへの懸念が一段と高まり、長期金利は低下。FRBの地区連銀報告でも景気減速懸念への言及が増えており、神経質な展開が続いている。外為市場では、ユーロが一時的ながら対ドルでパリティを20年ぶりに下回っている。

中国金融市場では、米国での金融引き締め懸念が高まり、中国国内ではコロナ感染再拡大やIT企業規制強化への懸念が高まってリスクオフとなり、株式市場は下落、債券市場は上昇（利回り低下）する展開となった。外為市場では、米中金利差の一段の拡大懸念からドル人民元は底堅く推移し、中国のGDPが予想を下回ると6.76台に上昇。

中国では、コロナ感染再拡大による影響に加え、一部の村鎮銀行での預金者保護問題や不動産市況悪化による経済全体への影響に一段と注目が集まる状況。中国政府は、ゼロコロナ政策を堅持する一方で、村鎮銀行の預金払い戻し支援や不動産規制緩和に向けた対応を進める模様。中国人民銀行の易総裁は、中国国内のインフレ率の低さとコロナ感染拡大や外部環境の影響等を考慮して、金融政策を強化して経済支援を強化する姿勢を示している。証監会は中証1000株式指数の先物取引開始を認可。

(2) 金融市場調節

中国人民銀行は、リバースオペ期日150億元、MLF1,000億元の期日に対し、新規リバースオペ150億元、新規MLF1,000億元、中央国庫現金管理商業銀行定期400億元を実施し、ネットで400億元を供給している。

(3) 主な経済指標

- ・GDP (Q2) は前年同期比+0.4% (Q1、+4.8%) と、上海等でのロックダウンの影響による製造業や不動産や飲食を主因とするサービス業の低迷により大幅減速。前四半期比では2020年Q1以来となるマイナス成長となった。
- ・鉱工業生産 (6月) は、前年比+3.9% (5月、同+0.7%) と、サプライチェーンの回復によりハイテクや自動車を中心に回復が進んでいることが確認できるものの、インフラ・建設資材関連やスマホ等はマイナスの状況が続いている。
- ・小売売上高 (6月) は、前年比+3.1% (5月、同-6.7%) と4か月ぶりにプラスに転じた。上海でのロックダウン解除等により物販が前年比でプラスに転じ、飲食もマイナス幅を大幅に縮小している。

② 資金市場

(1) 人民元資金市場

	SHIBOR	無担保資金	レポ	NCD AAA
ON	1.2110%	1.2100%	1.6200%	
1W	1.5930%	1.7700%	1.2500%	1.3700%
2W	1.5630%	1.6000%	1.6500%	1.4000%
1M	1.7740%	2.3000%	1.9000%	1.5500%
3M	1.9877%	2.3000%	2.0700%	1.7500%
6M	2.1160%	3.0000%		1.9500%
9M	2.2560%	3.6000%	3.5500%	2.1300%
12M	2.3260%	2.6500%		2.2050%

中国人民銀行は基本的に中立調整を続けており、金融システム内の資金需給に問題はなく、予想を下回るGDPや不動産市場活性化に向けた対応への期待を受けて金融緩和期待が高まり、金利水準は低下。ターム物は1ヶ月が1.80%前後に低下して出会っているのを除き限定的。

NCDは、週後半に金融緩和期待が高まり、一段と低下した。ターム物の金利水準は、1ヶ月が1.5%台、3ヶ月は1.75%前後、6ヶ月は1.95%前後、1年は2.2%台前半に低下している。

(2) 米ドル資金 (本土内)

	BID	OFFER
ON	1.52%	1.53%
1W	1.58%	1.60%
1M	2.00%	2.30%
3M	1.50%	1.60%
6M	2.80%	2.90%
12M	3.40%	3.50%

注目されていたPPIが40年ぶりの高い伸びとなり、急速な金融引き締め懸念から金利水準は上昇。ただし、地区連銀報告では成長鈍化の兆しも報告されていることもあって、中国国内市場では引き続き短期取引中心で、ターム物の出合いは限定的。ターム物は1ヶ月の2.3%台での出合いを除き限定的。

③人民元債券市場

	国債	地方債AAA	金融債AAA	社債AAA	社債AA
3M	1.60%		1.79%	1.92%	2.09%
6M	1.64%		1.94%	2.10%	2.28%
1Y	1.80%	2.00%	2.27%	2.30%	2.53%
3Y	2.40%	2.32%	2.76%	2.82%	3.17%
5Y	2.58%	2.82%	3.06%	3.21%	3.87%
10Y	2.79%	3.09%	3.45%	3.63%	4.40%

債券市場では、米国の急速な金融引き締めへの警戒感強いものの、足下の資金需給の安定に加え、感染再拡大による国内景気の先行き懸念から堅調推移。米国債利回りは急速な金融引き締めによる景気後退懸念から低下に転じており、中国10年国債利回り2.79%に対する上回り幅は大幅に縮小している（米10年国債利回り2.92%との差は13bpに縮小）。

イールドカーブは、短期債と利率債を中心に低下したことから、スティーピングが進んでいる。クレジットスプレッドは利率債利回りの低下により拡大に転じている。

④先物為替市場

	USD / CNY
1W	-3.2 / -3.0
1M	-34.5 / -32.0
3M	-148.9 / -143.0
6M	-348.0 / -345.0
9M	-499.0 / -485.0
12M	-589.0 / -581.0

対ドル基準レートは6.7503と前週末比+405pipsのドル高元安、対円基準レートは4.8571と同-763pipsの円安元高と、対ドルでは米国の金融引き締め懸念からドル高水準での設定が続いた。中国国内市場では、米国の金融引締めと中国の景気先行きへの懸念から底堅く、中国のGDPが予想を下回る低い伸びとなると7.76台まで上昇して週末を迎えている。

先物は、週前半は米国の急速な金融引締めへの警戒が再燃し、中国では景気後退懸念と政策支援への期待が高まったことから、スワップ幅は一段と低下（マイナス幅拡大）しており、週後半には1年物が-500台後半まで低下している。

⑤金利スワップ

	Quarterly 7d Repo A/365	Quarterly 3M SHIBOR A/365 A/360	Annually O-N SHIBOR A/365 A/360
3M	1.83%		1.72%
6M	1.95%	2.08%	1.81%
9M	2.02%	2.19%	1.88%
1Y	2.09%	2.30%	1.95%
3Y	2.38%	2.71%	2.00%
5Y	2.57%	3.00%	
7Y	2.71%	3.17%	
10Y	2.87%	3.33%	

スワップ金利は、中長期の債券利回り低下を受けて低下に転じている。債券利回りとの金利差であるスワップスプレッドも、短期金利の低下や景気先行き懸念の高まりを受けて縮小が続いている。

◆本資料は信頼できると思われる各種データに基づいて作成されておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
 ◆本資料は何らかの取引を誘引することを目的としたものではありません。売買に関する最終判断はお客様ご自身でなされようようお願い申し上げます。
 ◆金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等をご負担頂くものがあります。金融商品取引法に基づきお渡しする書面や目論見書をよくお読みください。